

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
数学A	2	単位制・普通科・1年		NEXT 数学A(数研)改訂版			
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 ～ 7月	場合の数と確率	23	<p>① 知識・技能 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。</p> <p>② 思考・判断・表現 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察できる。 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、場合の数や確率を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用してベン図等の式で集合を視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
9月 ～ 12月	図形の性質	24	<p>① 知識・技能 三角形や円に関する基本的な性質について理解できる。 空間図形に関する基本的な性質について理解できる。</p> <p>② 思考・判断・表現 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、新しい関係性を発見し、平面図形や空間図形を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用して図形を視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
1月 ～ 3月	数学と人間の活動	23	<p>① 知識・技能 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深められる。</p> <p>② 思考・判断・表現 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、2つの数量の関係に着目し問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用してを視覚的に学習内容を表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
指導時間数の計		70					